とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話2551番
毎旬5の日発行 1部70円1カ月200円 1カ年前納2,000円

ゆれる道議選対策

長谷川氏は断念? 大野氏が立起へ!

あと半年後に迫った道議選の本番を前にして、意外にも本別町の長谷川義信氏が立起を断念するのではないかとみられ、池北線の道議選対策は俄然ゆれ動いてきました。

一昨年の七月二日に長谷川氏の本別後援会が結成されていらい全管内的に後援会組織をひろげ、本年八月の町議改選にさいしては議席を投げうって道議選一本にとりくみ、本別、足寄、陸別、浦幌の四町を基盤とする唯一の地元候補として有望視されていたし、今月に入って八日の後援会幹部との会合でも決意を示していただけに、いかにも唐突な感じをあたえています。

長谷川氏自身は近く出所進退を明らかにすることにしていますが、ことここにおよんでの事情は同氏の健康を心配しての家族の反対が最大理由とみられており時々声がかすれる状態なので本番での演説は無理だとしています。

もし長谷川氏が断念となれば足寄町の大野耕太郎氏の出方が注目されています―が、同氏は公明党の宮口政雄氏と同様に十勝郡部の定員五名を前提にしていたもので、十勝の定員減は全野党が賛成、自民党だけが反対でもたついていましたがこんどは堂垣内知事側からの一名減提案となるので定員四名は確定的であり、先輩の堀田毅、筑井望両現職に長谷川氏と保守派の争いで参議院選地方区の二の舞になってはと―三十三才の若さなのでこの次を期して一応断念したものの、この情勢の変化に即応して立起の態勢をとるものとみられています。

大野氏の場合は

一、小林町長と大滝議長を世話人とする〃足寄から道議を〃との動きによって登場したこと

二、足寄町議会の自民党議員団(十七名)の推薦をうけたこと

三、本別、足寄、陸別、浦幌の四町自民党支部ですすめている統一候補にあげられれば党公認の可能性があること

四、自民党十勝連合青年部の議長をはじめ全管内の各種青年団体のキャップとして活躍中であること

などから若い道議候補として乗り出していける条件を備えているのに本人がこれをフルに活かしていけるかどうか、地元支部(鷲足賢支部長)が積極的にとりくむのかどうかにかかっていますが、四町の大票田をみすみす草刈り場にすることはないという一般の声も強いので、ゆれる道議選へのなりゆきが注目されています。

表彰と寄付金で論議 足寄町議会

臨時才九回の足寄町議会は二十一日午前十時にひらき(欠席は矢野、斉藤(昇)神本、斉藤(祐)議員)会期を一日として、はじめに任期満了による前谷信正教育委員の再任に同意して、本年度の表彰者として

▲坪内佐一郎氏(西五区) 不自由な身体で自治会長納税組合長、国民年金組織委員として献身

▲近藤悦朗氏(足寄) 農業委員会長、森林組合長、調停委員、保護司として貢献

▲土田今吉氏(東二区) 町助役、老人クラブ連合会長、町史編纂委員としての功績

▲斉藤一郎氏(芽登) 衛生副組合長、国保運営委員、消防後援会副会長として貢献

▲故福田留次郎氏(ラワン) 郵便集配人として三十二年余勤務、消防後援会、防犯組合役員として貢献

▲道東建設工業株式会社 社会福祉事業資金として町に百万円を寄付

▲ラワンスケート連盟 土地の悪条件下に優秀選手を輩出、全体のレベルアップは他の模範

との提案にたいして

遠山議員 表彰者についていままで私が何回か申しあげてきたがとりあげられないのは、これは価値観の相異で仕方がないが、この表彰者のなかで同じ見方からとりこぼしはないか、推薦されたからするのか、推薦されなかったからしないのか、ほかに類似したものがないのか、西区でも横山喜三郎さんなどは長く一生県命やられているのに片やにたいして表彰をうけ片やうけないのでは片よった町政にならないか

小林町長 それぞれの地域、団体から多くの方が推薦されたなかから公平に検討せねばならないが、具体的に指摘のあった坪内さんは身障者で不自由なからだでつとめられ、入院され引退されることになったので再三推薦されていた

遠山議員 坪内さんが適当でないというのではなくこの種の人を表彰するならまだほかにあるのでないか検討したか、一例として横山さんを申したが、推薦されたものだけを表彰するのでは片手落ちとなる

小林町長 推薦されないかくれた方もあり、慎重に検討した

湯浅議員 選考は自治会の内申によるのか、審議会によるのか

富田助役 選考は自治会や各団体の内申により町の部局でしている

などの質疑があって原案どおりに決定、つづいて一般会計予算補正として

▲才入
町民税(個人) 一七六万円
社会福祉費寄付金(道東建設) 一〇〇万円

▲才出
北十勝線起工祝賀会負担金 七〇万円
社会福祉協議会補助金 五〇万円
老人ホーム造園工事請負 五〇万円
じん芥処理場レンガ積替工事 一〇六万円

にたいして

鳴海議員 北十勝線祝賀会の内訳をききたい

谷企画課長 当初五百万円の計画だったが、種々審議し四百五十万円となり、鹿追、士幌、上士幌、足寄が七十万円づつで残り百七十万円は、こんど音更町にも入ることになり参加するので新得と両町で負担する

鳴海議員 総需要抑制の時代に妥当か疑問である、選挙資金を届けたこともある若干狂った期成会で明るい団体でなく多すぎないか

谷企画課長 多すぎるのではないかと二日の常任委員会で吉田議員とともに指摘し鹿追町長も意見を出し五十万円の減額となった

遠山議員 これだけかければ白糠線の二の舞とならないという見通しがあるのか、これだけかけて路床だけで列車が走らないのでは大変なことになる

小林町長 五十年に石勝線に短絡してさらに白糠線将来は阿寒線への短絡ということで、あえて起工にいったものと考える

鳴海議員 道東建設では直接に社会福祉協議会へ寄付でないのは要望なのか、五十万円を造園工事も希望として出されたのか

富田助役 寄付者と相談して予算措置をした

鳴海議員 勘ぐるようだが、本来なら社協へ直接寄付するのに、悪く考えると文化の日に表彰するためか社協に事業計画があって補助するのが本筋ではないか計画も要望もないのに金が入ったから五十万円を出すのか、補助申請もないのに支出するのか

富田助役 他の一般補助や交付金と違い寄付者の意志にこたえて社協によい計画を樹ててもらう

遠山議員 五十万円づつにわけないで百万円をまとめて造園に使ったらどうか

富田助役 寄付金の使途は寄付者の意志を尊重したい

香川議員 毎年焼却場に百万円かけているが、来年度までの暫定期間なのか

富田助役 場所は適当でなく、不燃物がふえつつあるので、過疎振興計画によって更新せねばならない、効率が悪いので新しいのができるまでもたせたい

などの論議があって原案どおりに議決、ついで林野特別会計の補正で上斗伏町有林作業道の工事費三百万円を追加、各種事務組合の監査委員の任期三年を四年に変更して、午前十一時三十分に閉会しました。

国のうちそと

政権獲得株式会社

●文芸春秋十一月号の「田中角栄その金脈と人脈」が国会の問題となり、金権政治の〃態〃が明らかにされるのは結構なことですが、ノーベル平和賞で心うきうきの佐藤前首相にしたところで造船疑獄で逮捕寸前に法務大臣の指揮権発動で事件をウヤムヤにした前科があるし、福田前蔵相だって昭電疑獄事件でクサイ飯を食べた時期があり、資本主義制度のもとで政権の座をものにするのはカネの力。

●その辺の小物政治家でも選挙区へ年賀状を出すだけで五十万円はかかり、毎日のようにどこかへ祝電や弔電に花輪、陳情団への接待、修学旅行団へのおみやげなどなど、民主政治は選挙民へのご機嫌とりと化し選挙民の方も政治家にタカるのがあたり前のご時勢。

●こうした政治家を数十名もかかえて日常の活動費から選挙資金の面倒をみるのが派閥の親分で、子分の多い派閥ほど発言力が強く大臣や政務次官や委員長のポストもとれるので多くしたいし、大きくなればなるほどカネがかかるのは当然で、そのうえ総裁選挙ともなれば一票一千万円以上のカネが動くので、田中派、福田派、大平派、三木派、中曽根派といった大どころとなれば、いうなればこれは政権獲得株式会社。

●地獄の沙汰も金次第が自由経済の原理、資本主義の原則であって「田中角栄その金脈と人脈」はその原理、原則にもとずいており、これがいけないというのであれば田中個人ばかりではなく自民党そのものがいけないということです

記者席

○…表彰者を決定するのにいちいち議会にかけるのは足寄ぐらいなもので、それでも表彰に権威をもたせるためだとしても、こうして毎年のように表彰名簿に文句が出るのでは権威のないこと。

○…これといった尺度もないので、功績があろうがなかろうが町関係の役職を長くやっていればになり勝ち

○…道東建設はかつて町長が就任前に関係していたので、せっかくの百万円寄付にケチがついた形ですが、いまは町長は関係がなく寄付についても打ち合せもなく、同社として創業十五週年にあたり、このたび国や道の工事指名がB級に昇格した記念、披露行事をとりやめて花田常務が社会福祉事業のためにと、三宅社協会長のもとへ百万円の寄付を申し入れたもの。

○…ここで三宅会長がそのまま社協として受け入れておけばこの日の議会での論議とはならなかったもので百万円となれば当然に国から褒賞をうけられるのに、いきなり社協が受け入れたのでは法人格がない団体であるために、いったん町を通す必要があるとして、三宅会長としては道東建設の善意に報いるために気を利かせて好意的にとりはからったものですが、議会では意外にも〃親の心、子知らず〃といった格好であと味の悪い論議に―。

○…前議会では国道完工祝賀会の予算をめぐって「国道を国がやるのはあたり前だ」と支出に異議が出たのにつづいて、今回も北十勝線起工祝賀会の予算に物言い―たしかにこうした出費はないに越したことはなく出すにしてもできるだけ節減につとめるべきですが、隣接町村間の申し合せで決めたことに文句をつけてみてもヤボなはなし。

○…論陣を張るのなら徹底的に否決なり修正へもっていくのならまだしも、いってみても最後は原案可決。

○…陳情運動をしなくてもすべて国や道がやってくれる世の中になれば別としていまは必要悪として世間並みの交際も無視できない筈

祝
一般国道241号242号全線完工

昭和三十五年から十五年の歳月と七十二億円余の巨費を投じて、足寄町地内九五キロ(二四一号五八・八キロ、二四二号三六・二キロ)が、いまここに完工するに至り地元住民の喜びは大きく、国をはじめ関係機関および地元関係住民各位に対しまして厚く御礼申しあげます。

足寄町・足寄町地内国道全線完工祝賀協賛会
会長(足寄町長) 小林弘道
副会長(議会議長) 大滝弥助
副会長(商工会長) 新沼芳雄

明るいスナック シャンブル 足寄町南一区 T 二四三九

不動産についての御相談は
調査 売買 あっせん 管理 分譲
代行 登記 損害保険 代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所 足寄町本通り三丁目 T 二二四五

一五〇キロ高速ホイルバランサー
レッカー車 フレーム修正機
RM アクリル 調色機
新鋭機 導入!
札幌陸運局認証 整備 板金 塗装
ムトウ自動車工業 足寄町 T 二五七八 夜間専用 三七一九

家具 建材 アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する!
有限会社 桜井家具建具店 足寄町北五区 T 二三六二 工場西五区

秋の衣料
が各産地から続々と入荷いたしておりますので御光来、御用命下さい。
物価高に負けないよう足で集めて参りましたので価格も安く、また形も流行品ですので、御満足を得られることと存じますのでお早目に秋をお買い下さい。お待ち申し上げます。
株式会社 前田呉服店 足寄町駅前商店街 T 二〇二三

技術に生きる!
ビクター
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
―あらゆる電気器具―
有限会社 ミネ・デンキ 足寄町三笠通り T 2642